

富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048 (771) 0505

令和7年3月1日
発行責任者
校長 吉田 充

3月 成長の実感を

校長 吉田 充

令和6年度も最後の月となり、締めくくりの時期を迎えました。先月行われました今年度最後の授業参観・懇談会におかれましては、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。1年を経て、子供たちが大きく成長した様子をご覧いただけたことと存じます。

さて、今月24日には、117名の6年生に、卒業証書が手渡されます。学校生活のあらゆる場面でリーダーとなり、みんなを引っ張ってくれた6年生、クラブや委員会、縦割りで行うなかよしタイムでは、下級生を優しくリードしながら、学校のために活躍してくれました。生活目標の重点でもあるあいさつをよくし、学校全体を明るく潤いのある雰囲気にしてくれたのも6年生です。富士見っ子のお手本として、がんばった6年生も、あと15日で卒業です。

1年生もすっかり学校生活に慣れ、立派に成長しました。笑顔で元気にあいさつをし、友だちと仲よく、毎日元気に学校生活を送っている様子から、上級生になる準備はしっかりできていると感じています。2年生から5年生も、それぞれの学年の発達にふさわしい成長が、あらゆる場面から感じられます。基本的な生活習慣、学習に向かう姿勢、友だちを優しく思いやる心、目標に向かって粘り強く挑戦する姿などから、校訓に示したように「かしこく やさしく 元気よく」学校生活を送ることができたと思います。

3月は、卒業や進級を前に、この1年でやれたこと、できるようになったことを振り返り、努力や成長を確かめる時です。一人一人に、得意なことも、苦手なこともあるでしょう。よさを伸ばし、苦手を克服するために努力することは大切です。同時に、「得意なことも、苦手なこともある」ありのままの自分自身を受け入れながら、前進しようとする気持ちも大事にしてほしいと願っています。

苦手があっても自分自身のことを「なかなかいい」と認められることが、さらなる成長につながると思いますし、そのためにも、私たち大人は、ありのままの子供たちを受け入れ、たとえわずかであっても、がんばっていることや成長を認めることが重要だと思います。ぜひご家庭でも、この1年をお子様と振り返り、成長の実感を味わわせてあげていただければと思います。

結びに、この1年間、保護者、地域の皆様方には、様々な面において学校を支えていただきました。おかげさまで、子供たちは楽しく学び、健やかに成長することができました。誠にありがとうございました。4月からは、進学、進級により新しい生活が始まります。新年度も引き続きまして、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。